



真新しい普通教室での授業風景



新校舎で地域に誇れる 学校教育を目指します

東城小学校 校長
山本 雅照 さん

児童をはじめ保護者、地域の方が待ち望んでいた校舎が完成し、本年度から新校舎での学習がスタートしました。旧校舎は、東城町福代出身の朽木順作翁の寄付によって「地震にも火事にもびくともせぬ校舎の中で、びくともしない東城の子が育つように」との思いで建てられた校舎でしたが、耐震構造上の問題から68年の歴史にピリオドをうち、このたび庄原市をはじめ、関係者の皆さまのご尽力により、新しく生まれ変わりました。

この新校舎で心新たに健やかな子どもの育成を図り、地域に誇れる学校にしていきたいと考えています。



明るく温かみあふれる 自慢の校舎

東城小学校 児童会長(6年)
津田 健人 くん

新校舎に足を踏み入ると、木の香りがしてとてもうれしくなります。ぼくたちは今、この新校舎で、気持ちよく勉強をしたり、運動をしたり、元気よく遊んだりしています。4月になって新しい気持ちや目標をもって一歩踏み出すことができたのは、この校舎を建ててくださった皆さまのおかげです。

50年先、100年先も東城小学校の子どもたちの自慢の校舎になるように、大切に使っていきます。

東城小学校校舎棟 東城学校給食 共同調理場 が

完成しました

東城教育室教育係 ☎08477-2-5221

A school building and the joint kitchen were completed

東城小学校の校舎棟の改築工事が2月末に完了し、4月から児童は新校舎での生活をスタートさせました。新学期が始まる前に机やイスなどを仮設校舎から新校舎の教室へ移動。4月7日の入学式には、新入生48人を迎えました。

東城小学校の校舎横には、東城学校給食共同調理場も完成し、東城地域4つの小学校の給食調理と配送が始まりました。

■木の香りいっぱいの新校舎

新校舎は木造2階建て、延床面積約5188平方メートルで、普通教室のほか特別活動室や図書室など普段児童が生活する教室や、新校舎棟の北側にある特別教室棟もあり、日々児童の元気な声が響いています。

児童玄関であるコミュニティゲートから校舎に入ると、地元産材で建築された校舎からは木の香りが漂い、ぬくもりのある空間をかもし出しています。

また、エレベーターや多機能トイレを設置するなどバリアフリーに配慮し、ペレットボイラーによる床暖房や太陽光発電システムなど、省エネルギー技術を導入した教育環境を整備しています。

■安全安心な給食を提供

東城学校給食共同調理場は、鉄骨

造り平屋建て、延床面積約575平方メートルで、衛生的な最新の調理設備を備えた調理室や洗浄室、下処理室など作業ごとに区分され、おいしく安全な給食を子どもたちに提供します。

また、通路からは児童が調理作業を見学でき、食育環境にも配慮しています。

平成23年度に着手した東城小学校の改築事業は、今後、仮設校舎を撤去したのち、グラウンド整備(暗渠排水)、遊具の設置、屋内運動場倉庫建築などの工事が行われ、本年度中に完成する予定です。

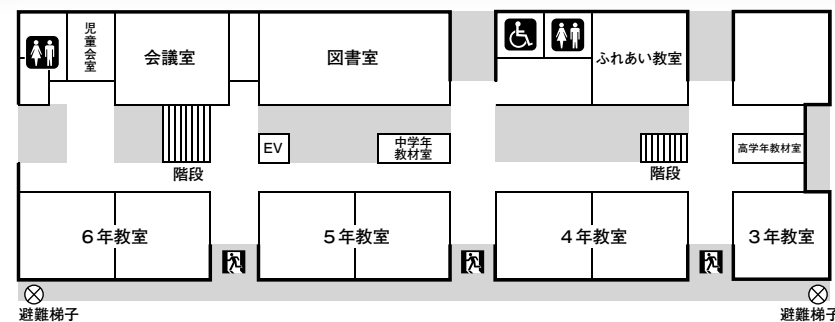
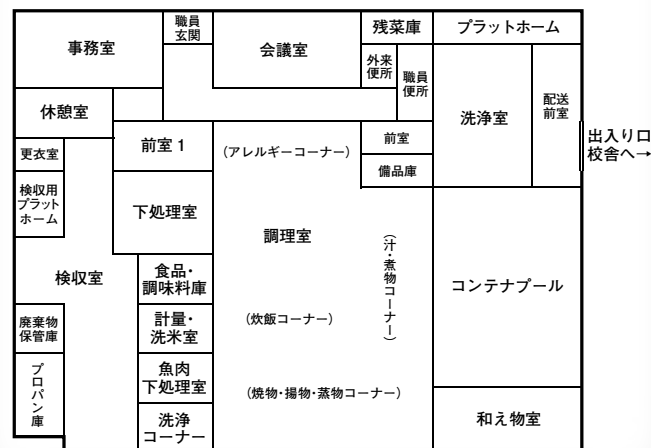


調理室



コミュニティゲート

東城学校給食共同調理場



2F
教室



2階 バルコニー



1F
教室



1階 階段・廊下